

ソレッテ大阪?



それって何?

もちろんセレッソ大阪の間違ひではありません。建築家や建築学生、その他建築に関わる人達がつくるサッカーチームなんですけど、どうもただのサッカーチームではなさそうなんです。やっぱり建築とも関係があるらしく、何だか面白そうなので、今回はメンバーの中から13人の方(★)に集まっていたら、ソレッテ大阪?とは何なのかについてあれこれと語ってもらいました。

建築家のサッカー大会 A-cup 関西にもチームをつくらう

Q 「ソレッテ大阪?」創設のいきさつなどを聞かせていただけますか? まずは創設メンバーの吉井先生お願いします。

A そうですね。もともと僕はサッカーをやっていた。数年前から OCT や関西大学の学生とサッカーをするようになっていたんです。リフティングしながら建築について話したいという思いもあって。そうこうする内に関西で建築家のある集まりがあって、そこに A-cup をやろうと言いだした阿部仁史さんが来ていたんです。そこで、「東京では A-cup という建築家が集まるサッカーの全国大会があって、チームもたくさんあるんだけど、何で関西のチームはないの?」っていわれたんですよ。その時にそばに中平先生、宮本佳明さんがおられて、そんなこと言っただけでチームをつくってやろうやかないかということになったんです。(笑) そうですね。

してきてのが「リアル・間取り・どう?」というチームの前身で、そこから分かれて再構成したのが「ソレッテ大阪?」なんです。チームの命名をされたのはどちらの中平先生なんです。(笑)

サッカーでみんなをつなげて 建築の面白さ、熱さ引き出したい

Q なぜ「ソレッテ大阪?」という新しいチームをつくらうと考えたのですか?

A-cup には千葉学さん、塚本由晴さん、伊東豊雄さんなどのトップアーキテクトのチームがいくつもあるんだけど、僕の考えでは「みんなで作るチーム」にしたいという思いがあったんです。あと僕が学生の頃に先生が機会をつくってくれて、他の大学生と講義を受けたり、現代建築の見学をするグループができていたんです。今でもそのつながりはあるんですよ。でもサッカー人口がこれだけ増えた時代なら、建築で直接つな

げるよりも、サッカーでみんなをつなげて建築が持っている面白さ、熱さといったものを間接的に引き出せたらいいのではと思うようになったんです。それにそうした方がより自然につながりができるんじゃないかと思って、中平先生をはじめいろいろ考え方に賛同する人達と新しいチームを作ったんです。

メンバーに大阪の人が少ない 「それって大阪のチームなの?」

Q 「ソレッテ大阪?」の由来は?

A メンバーは地域や学校、職種、世代を越えて集まっていたんです。メンバーリストを見てみると、京都や奈良の学生、東京の編集者とかで、大阪の人がほとんどいなかったんです。(笑) 大阪は吉井先生ぐらいでしたよね(笑) だから「それって大阪のチームなの?」ってところから命名されたんですよ。(笑) あと OCT がセレッソ大阪のスポンサーだったことも命名には影響しましたね。

★座談会メンバー (年齢 / サッカー歴)

- 1 吉井義晴 — 建築家 (50/36)、キャプテン監督→GM
本校講師、関大講師、神戸芸工大講師
- 2 中平勝 — 建築家 (47/05)、キャプテン監督
本校講師
- 3 新宮明 — 建築家 (39/03)、キャプテン
本校講師
- 4 奥野八十八 — 社会人 (28/08)
建築環境研究所 [設計事務所]
- 5 青山悠 — 学生 (25/02)
関西大学大学院 M1 都市設計研究室
- 6 増山和虎 — 学生 (22/14)
関西大学建築学科4回生
- 7 バイバイティ — 学生 (22/11)、本校卒業生
大阪工業大学建築学科3回生
- 8 久保田佑二 — 社会人 (21/14)、本校卒業生
下山建築設計室 [構造設計事務所]
- 9 高田慶 — 学生 (21/16)
神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科4回生
- 10 治郎丸綾香 — 学生 (19/02)
本校 建築学科2年生
- 11 原もも子 — 学生 (19/11)
本校 建築学科2年生
- 12 古家良輔 — 学生 (19/11)
本校 建築学科2年生
- 13 山口桜 — 学生 (19/02)
本校 建築学科2年生 (以上、敬称略)

「ソレッテ大阪?」は入りやすい垣根が低いんです

Q 「ソレッテ大阪?」のチームの環境はどんな感じなんですか? キャプテンの新宮先生いかがですか。

A 今、創設の話は先生方から聞いて、「そうなんやあ」ってはじめに知りました。(笑) 今のチームに漂っている雰囲気というのは創設時からつられて来たんだなあと感じました。僕自身、チームに誘われた時、入りやすかったんですよ。垣根が低いんですよ。それにチームに入るのに、サッカー経験とか全然関係ないんですよ。

チームは「ゆるい」感じ 建築のつながりに飛び込みたい

Q 僕は先輩の紹介で入ったんですけど、チームの印象は「ゆるい」って感じでした。(笑) 入った動機は、建築をしている人の世界を知りたい、学校の外の世界を見たって気持ちからでした。

A 僕も先輩にこんなサッカーチームがあるよと紹介されたんです。もちろんサッカーがしたかったんですけど、建築見学とかいろいろな人と建築の話とかができるっていうのも魅力でした。入ってみるとみんな仲が良いんですよ。それに社会人や学校や年齢に関係なく話ができる環境っていいなって思いましたね。それに高田君がいろいろに建築のつながりがある中に飛び込みたいって気持ちはありましたね。



建築直接のつながりじゃない 建築の一手前がいい

Q でも、建築は直接じゃないよね。

A そうですね。普通にプライベートな話とかもするし。サッカーとか建築とか関係なく時間を共有するっていうのはいいと思うんですよ。

Q 今の話って大切で、建築といっても色々な分野の人が集まっているわけで、その人達の間にはある種のバッファー(緩衝帯)があるんですよ。そこでサッカー・建築ということになった時に、実はあんまり建築自身は関係なくて、ものをつくるか、考えるかとかいう思考だけになっていくというのは面白いと思うんですよ。

A これは僕の印象なんですけど、逆に建築を勉強しようとか見学に行こうとか、建築を目的に集まったりしてるのってあんまり長く続かないような気がするんですよ。建築の一手前ですつながつながっている方がいいと思うんです。

スポンサーがいるって本当?

実は、A-cup でスポンサーのついているチームは「ソレッテ大阪?」だけなんです。大会に行く注目の的なんです。柳々堂さん [建築専門書店]、TH-1さん [建設会社]、VELUXさん [建材メーカー]、ワイス CONSTRUCT OFFICEさん [インテリア]、藤の家さん [建築事務所] がスポンサーになっていただいています。例えば、柳々堂さんは昔から建築を志す若者への支援を惜しみなくやっておられて、先生方の多くも学生の時からお世話になっています。TH-1さんは、毎年大会へ遠征に行くときにはチームメンバーを迎え入れてくださって、名住宅建築である「TH-1」にて見学を兼ねてもらっていただいています(高橋写真)。スポンサーさんのご支援は、主に学生の大会遠征の費用などに充てられているようです。本当にありがたいことです。文化的な活動と受け止めていただけるそんなスポンサー募集!

建築で仲良くなってサッカーをする それって、ひっくりかえってるよね

Q 僕も誘われて入ったんですけど、最初は知らない人ばかりだし、正直誰とも仲良くなれなかったんですよ。(笑) それに建築が絡んでいるとはいえサッカーチームだし、いつの間にか建築を忘れて普通のサッカーチーム的なリになってくるんですよ。そんな中、クロちゃん(高田さん)と仲良くなったのは建築見学会だったんですよ。それってひっくりかえってるよね。建築をしようってことでサッカーで仲良くなるって感じだったのには、建築で仲良くなってまたサッカーで仲良くなってるといいますよね。



女の子も一緒にサッカーをする 動機はやっぱり建築への関心

Q 女性メンバーも多いですよね?

A A-cup には、女性か中学生以下の子が絶対にチームに入らないといけないという決まりがあるんですよ。ジロー(治郎丸さん)とさくらちゃん(山口さん)は僕が誘ったんですよ。二人は何で入ろうって思ったの?

Q せつかく先生が誘ってくれるし、面白そうだからって感じでしたね。(笑)

Q やっぱり建築の人がたくさんいるっていうのは、入る動機になりましたね。高田さんと同じで学校の外に出てみたかったというのありました。そしてつながりができたことで、関大の卒研の講演会とかを見に行っても知り合いがいっぱいいるって感じなんです。チームでしか知らない人が、あの人は大学ではこんな感じなんやとか思って面白いですよね。これってやっぱりひっくりかえってるよね。(笑)

ワントップ型の組織は維持しない 決めてしまわない、更新し続ける

Q 「ソレッテ大阪?」は、強くて聞いています。広い意味での強さということですが、その秘密は何ですか?

A 実を言うと、今年の大大会のポテンシャルはなんだか下がっているように感じなんです。それはなぜかと考えると、ワントップ形態の大学のチームは4年、6年チームで変わっていくんですよ。やっぱりその時に組織を維持できないんですよ。それでチームの活力が失われていく。そうではなくて、チームを決めてしまわない。そしてもっとフラットにずっと集めつづけて、更新しつづけることが方法として有効じゃないかと思ったんです。あえて言うならそれが強さなのかもしれ

ません。これは対モダニズムとしての「ポストモダニズム」の考え方でそれでいけるんじゃないかと思ったんです。

ねじれて反転しながら連携していく 環境をつくるのがメイン

Q そうですね。建築運動でも立ち上げた人たちというのは段々と抜けていってしまうんですよ。ソレッテの場合は、今年でも40人を超えているんですよ。出たり入ったりする人もいたりして、今後どう発展していくのか考えるところもワクワクするんですよ。

Q そこにはいわゆるネットワークの可能性があると思うんです。直接じゃない、一回ねじれて反転しながら連携していくということが大切なんだと思いますね。

Q ポジションが決まっていなくて、ポジションを死守とかじゃなくて、別の所を守りながら、動きながらなんです。居場所が固定されない、それがみんなが楽しんでいる感じの環境じゃないか。

Q それとソレッテは、やっぱり環境をつくるのがメインなんです。7月の A-cup の大会というのは、結果的にそっちに向かっているということなんです。



それでも建築、建築って言うってそれがまた刺激になる

Q 社会人の奥野さんはソレッテをどんな風に見ておられます?

A 先ほどから建築という枠で集まりながらもその一手前前で…なんて話が出ています。僕は社会人ですのでもちよよいしか行けないんですけど、行ってみると結構みんな建築、建築って言うてるんですよ。(笑) それはなんという刺激になるのかプレッシャーになるのか、やっぱり建築、建築って言い続けたいかんねんって思われますね。そんな思いで事務所に帰って図面を引くということをやっているんです。事務所をさぼってサッカーに行くのは僕ぐらいなんですけどね。(笑) それに参加している社会人というのはアトリエ事務所とか小さな設計事務所の人も多いんですよ。そういう所って一つ一つの世界が閉じていて小さいままなりわいで、サッカーを通じてそこにポコポコと穴が開いていくのはいいことじゃないかと思って思いますね。

* いかがでしたか? 「ソレッテ大阪?」に入りたかった人も多くはかまされません。座談会はまだまだ続きます。後半は次号レミで!(Y)



A-cup は今年で7回目

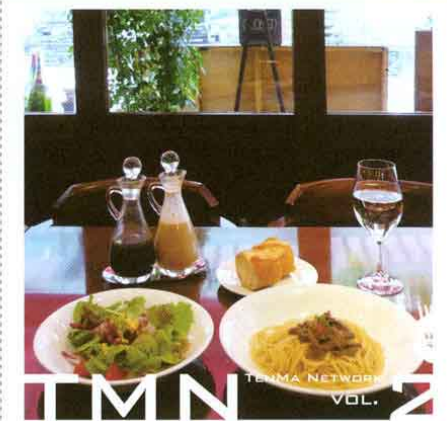
A-cup の A は、Architecture の A です。A-cup とは、日本中の建築関係者が一同に集まるサッカー大会のことです。大会には学校や設計事務所、ゼネコンやメーカーなど建築に関わる人たちが集まっています。もちろん建築学生もたくさん参加しています。2002 年が初回で、毎年一回大会が開かれていて、今年で7 回目です。今年も7/6に茨城県波崎のグラウンドに全国から約 650 名、24 チームが集まりました。優勝は宮本佳明さんが率いる「リアル・間取り・どう?」でした。関西勢は強かった。

サッカーは、建築に似ている

大会コミッティによると、大会の目的はサッカーを通して「建築と都市」を考えることだそうなんです。建築を考える上で、身体性、空間把握力はサッカーに通じるものがあることを指摘しています。建築の空間性やアクティビティ、または建築においてチームでプロジェクトをすすめる際の議論や経緯論などにおいて、サッカーをアナロジー(比喩)に使われることがしばしばみられることから、サッカーと建築の関係はなにやら深そうです。

サッカーで、新しいつながり

大会は、大学、年齢、職種、地域など様々な枠を超えて集まっています。建築に関わっていないこと、サッカーが好きなことだけが条件の集まりです。結果、様々な関係における垣根を低くすることになり、広範で新しいコミュニケーションの場となっているのも特徴です。



レミ/6月号の特集でご紹介したビストロ「クウ・ドゥ・ヴァン」は、本当にお洒落で落ち着いたお洒落。特にお昼の「日替わりパスタランチ」はとってもお得なので、近所で働く OL さんやお散歩好きの老夫婦、そして女性だけでなく男性の方にも大人気。日替わりパスタにサラダと焼きたてパンが付いて 840 円。なんとパンは焼きあがるたびにミルク・ゴマ・ハーブなど種類を変えてくれるんです。キャプテン 藤園さんのきめ細かいサービスがほんとにあっという間にうれしいです。それにプラス 160 円で食後のコーヒーなどをチョイスすることも出来る、気持ちもお腹も大満足。今日は「牛タン」の軽いクリームパスタ(上写真)。たまねぎの旨さと牛タンのジューシーさがマッチしてまさにあっさり系の「軽い」クリームパスタでした。お店は大川にかかる天満橋の北側にあって、赤いひざしとメニューいっぱい黒板が目印。そして、このお店を改装するという課題に本校インテリアデザイン学科の学生が只今取り組んでいます。この改装計画の結果は次号のレミで報告予定です。お楽しみに!(1)

ビストロ クウ・ドゥ・ヴァン
Lunch: 11:30 ~ 14:30 / Lo
580-0043 大阪市北区天満1-5-2 トリマオファインビル 1F
Tel.06-6351-4088 [FAX 兼用] 定休日: なし

